

kizuna influencer

きずなインフルエンサー

登別手話の会に行ってみた！！

こんにちは！私たちはきずなインフルエンサーです。
きずなインフルエンサーとは、市内の高校生で登別市の
福祉活動をバズらせようと結成されました。

登別青嶺高等学校3年生の三浦真姫（みづら まき）と、
登別明日中等教育学校5回生の谷口陽紀（たにぐち はるき）
が社会福祉協議会といっしょに活動しています。

どちらも「福祉」に興味を持っていたので、市内の福祉
活動を見学することになり、「登別手話の会」に行ってみ
ることになりました！

バズる：若い世代の言葉で、多くの人に拡散する、注目を浴びるの意

高校生の目線から活動をレポート！
裏面へつづく

「登別手話の会」は毎週火曜の夜にのぼりんで行われていて、18時半から参加しました。入ると温かい雰囲気迎え入れてもらいました。マスクは口元だけが透明になっている、特殊なものを使いました。

最初に手話を交えて自己紹介をすることになり、「谷」という手話と、口元辺りに指を指す「口」という手話で「谷口」、「三」を表す手話と、裏を表す「浦」の手話で「三浦」だと教えてもらいました。次に聴覚障がいがある方もいっしょに楽しめる“言葉の並び替えゲーム”をして、最後に手話で「にじ」という歌を歌いました。



▲ゲームをしながら
楽しく手話を教わりました



▲手話を使ってみんなで歌っています

登別手話の会のみなさんに自己紹介の手話を教えてもらったとき、手話をしているんだという実感がわきました。ゲームをしてとても楽しく手話に触れることができ、手話には魅力が詰まっていると思いました。手話で歌を歌って、音が聞こえなくても楽しむことができるのだと発見がありました。（三浦）

手話講座のようにきっちりかっちりしたものかと考えていましたが、実際に手話の会に参加してみると、みなさんに温かく迎え入れてもらい手話を“楽しく”学ぶ雰囲気がありました。

手話について全くと言っていいほど知らなかったのですが、みなさんといっしょに手話を学ぶことがとても楽しく感じられました。また、聴覚障がいがある方と健常者との壁を感じず、自分もすんなりと馴染むことができました。（谷口）



地域活動の様子を発信中！
社協SNSも見てね☆

地域活動を見学してみたい方は
登別社協までご連絡ください

\ instagram /



\ website /



登別市片倉町6丁目9-1 しんた21内
tel : 0143-88-0860
mail : info@kizuna-shakyo.jp